

# JASDAQ・ヘラクレスの市場統合のあり方について

平成21年10月27日

大阪証券取引所 ジャスダック証券取引所

## はじめに

(株)大阪証券取引所と(株)ジャスダック証券取引所は、本年6月29日に公表された「市場統合のあり方に関する委員会」(委員長:池尾和人・慶應義塾大学経済学部教授)の報告を踏まえ、来年秋を目標としているJASDAQ・NEO・ヘラクレスの市場統合に向け、具体的な内容の検討を進めているところであります。

上場制度等は、出来るだけ早期に公表できるよう現在検討しておりますが、今般、新市場の全体像・コンセプト・制度改正の骨子について公表いたします。

統合後の新市場は、上場会社数、時価総額、IPO件数、売買代金において国内最大のユニークな上場企業約1,000社の集積となりますが、幅広い企業に上場機会を提供することを通じて、我が国経済・地域経済の活性化に貢献し、同時に投資家が自己責任の範囲で安心して投資できる魅力的な投資機会を提供するという責務をしっかりと果たし、信頼性が高く、魅力的な新興市場を構築して参ります。

当面は、起業家・ベンチャーキャピタル・証券会社・監査法人等の幅広い市場関係者と円滑に意思疎通しながら、持続的に発展する国内最大の新興市場としての基盤を固め、それによって、米国NASDAQ市場のようなオリジナリティー溢れた世界のベンチマークとなる新興市場を目指します。

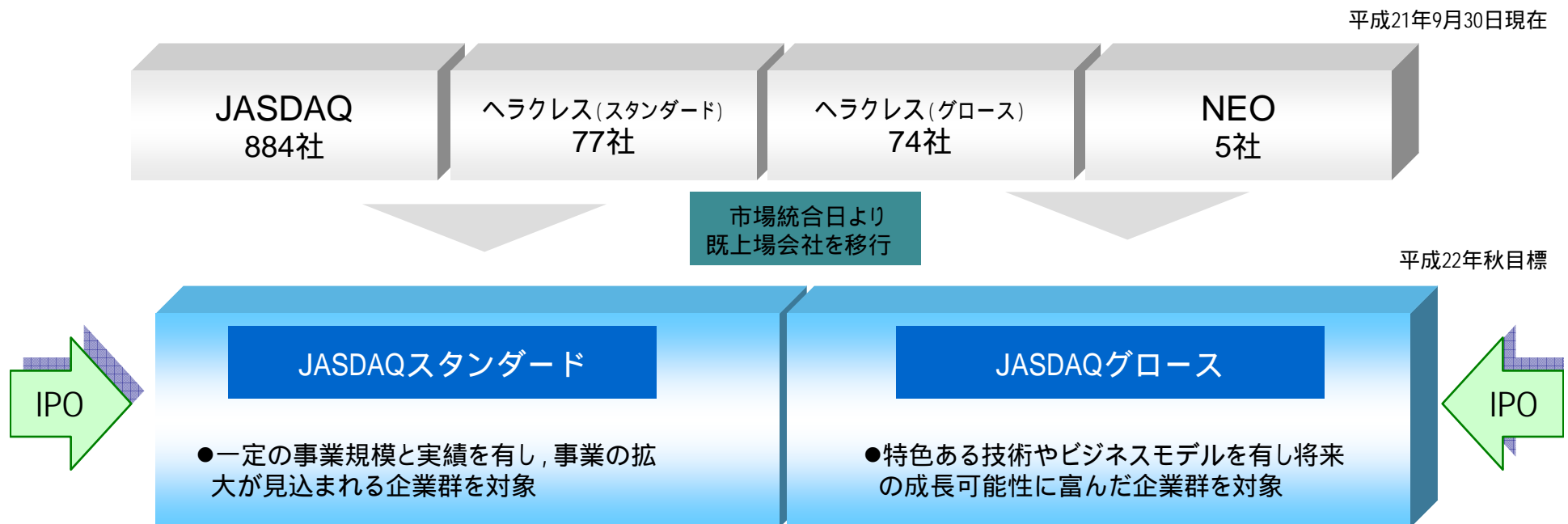
# 1. 新市場の全体像

## 【基本理念】

国内最大の新興市場として『新しい産業や中堅・中小企業に幅広くエクイティ資金を供給することを通じて、その成長を支援するとともに、投資家にとって魅力的な投資機会を提供』

## 【市場名称】

新市場の名称は、ブランド認知度が高いJASDAQとする(JQスタンダードとJQグロースに区分)。



## 2. 新市場の3つのコンセプト

### 1. 信頼性 Confidence

- ・新市場は、投資家が自己責任原則を踏まえたくうえで、安心して投資できるよう、市場全体の信頼性を向上させたい。

### 2. 革新性 Innovation

- ・新市場は、投資家に対して、将来の我が国経済を支える革新的な取り組みを行う企業への投資機会を提供したい。(革新的企業の上場)
- ・新市場は、価格発見機能を発揮することが可能な流動性を備えるとともに、金融サービス業として投資家・上場会社・証券会社等のステークホルダーの利便性を向上させたい。(流動性・利便性)

### 3. 地域性・国際性 Regional & Global

- ・新市場は、各地域でポテンシャルのある企業の上場サポート等を通じて、地域経済の活性化に貢献したい。(地域性)
- ・新市場は、上場企業の世界展開を支援するほか、取引所ビジネスのあり方や諸制度面で世界標準にキャッチ・アップしたい。(国際性)

### 3. 想定される具体的な内容(検討中)

#### 1. 信頼性 Confidence

##### (上場審査)

- ・上場審査プロセスにおける客観性の向上

##### (上場管理・上場廃止)

- ・取引所の上場管理の強化, 上場適格性を失った企業の早期上場廃止による市場全体の信頼性の向上

(別紙「制度改正の骨子(検討中)」参照)

#### 2. 革新性 Innovation

##### (革新的企業の上場)

- ・ナノテク・ITなど先端テクノロジー・ロボット産業・環境エネルギー産業・バイオ産業・アグリビジネス等の成長分野のNo.1企業等の上場誘致

##### (利便性)

- ・アナリストレポートの拡充に向けた取組み, 投資家向け決算説明会の開催, 会計・法務・経営等をテーマとした上場会社向けセミナーの開催等のコーポレート・サービスの充実
- ・最先端のITやWeb技術を活用した取組み, 取引時間の延長に向けた検討

##### (流動性)

- ・LP(リクイディティ・プロバイダー)制度の見直し
- ・新興市場インデックスの開発, ETF・デリバティブの上場

#### 3. 地域性・国際性 Regional & Global

##### (地域性)

- ・各地域の金融機関・商工会議所等と連携し, 上場等をテーマとする勉強会・交流会を開催

##### (国際性)

- ・海外向け情報発信の強化や英語版Webサイトの制作メニューの提供等を通じた上場企業のグローバル展開の支援

## (別紙) 制度改正の骨子(検討中)

### 新規上場

- 新規上場基準は、幅広い企業に対してエクイティ資金を供給できるよう、現状並みの形式基準を設定。  
JQスタンダードは直前事業年度における一定の利益額を要件とするなど実績を重視  
JQグロースは将来の成長可能性を評価することから、利益の実績を問わない。
- 上場プロセスの客観性の向上と改善  
外部有識者で構成された委員会を設置し、上場適格性を諮問することによる客観性の確保( 現行NEOの「技術評価アドバイザー・コミッティ」の機能は外部委員会等に継承)  
既に他の取引所に上場している会社等を対象に提出書類や審査項目を簡略化した上場審査制度の導入

### 上場管理

- 上場管理の強化  
新たに「監視区分」を設置し、投資家等への注意喚起を強化することで、直ちに上場廃止基準に抵触せず  
監理銘柄とならない問題行動・企業にも対応。  
監理銘柄(審査中)に該当するような問題企業に対する上場管理料の割増し措置
- 適時開示の見直し  
JQグロースは、将来性評価の市場特性を有することから、中長期の情報開示を充実  
「業績見通し」の公表について、業種等の特殊性に鑑み柔軟な記載を可能とする。

### 上場廃止

- 流動性の上場廃止基準として、浮動株時価総額の基準を採用
- ビジネスモデルが崩壊した企業の上場廃止  
継続的に財務状況が悪化し、ビジネスモデルが破たんしたとみなされる場合  
JQグロースに赤字上場した場合において、一定期間経過しても黒字化できないとき
- マネーゲーム化する恐れのある企業の上場廃止  
著しい低株価が恒常化し値動きが大きく、売買管理上、望ましくない場合

### 既存上場会社

- 市場統合日以降、新市場の上場会社として取り扱う(改めて上場申請を行う必要はない。)
- 新たに適用する規則については、投資家・上場会社の視点から必要に応じて移行措置を適用。
- 市場区分間の所属変更については、上場会社からの申請を受けて審査(移行時の移動を含む。)を行う。